# AIを活用した

会貝限足 参加費無料

画像診断支援システム

2024年8月9日(金) 14:00~18:30

名古屋大学 東山キャンパス EI創発工学館2階FUJIホール ほか

総 会 14:00~14:30 (EI創発工学館2階FUJIホール)

講演会 14:45~16:35 (EI創発工学館2階FUJIホール)

・開会挨拶 名古屋大学協力会 会長 佐宗 章弘

・特別講演1「医療画像AIの実現とその社会実装」

講師:名古屋大学大学院 情報学研究科 教授

森 健策 氏

・特別講演2「大腸がん死亡ゼロを目指した内視鏡診断支援AIの開発 一産官学連携研究の成功事例―」

講師: 昭和大学 横浜市北部病院 消化器センター 講師 三澤 将史 氏

・特別講演3「産官学の医工連携による

AIを搭載した大腸内視鏡診断支援ソフトウェアの開発し

講師:サイバネットシステム株式会社 医療ビジュアリゼーション部

部長補佐 華原 革夫 氏

見学会 16:50~17:20 (Tokai Open Innovation complex(TOIC))

交流会 17:30~18:30 (レストラン花の木)

【主 催】名古屋大学協力会 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

【後 援】岐阜大学協力会

【**問合せ先**】名古屋大学協力会 E-mail:kyouryokukai@aip.nagoya-u.ac.jp ※お申込みは、郵送案内の「**出欠通知書**」にてお願いいたします。

### 特別講演1

## 「医療画像AIの実現とその社会実装」

名古屋大学大学院 情報学研究科 教授 森 健策 氏



本講演では、医療画像AIの実現とその社会実装について、画像認識アルゴリズムの開発から、システム実装、医療機器としての医機法に基づく承認、そして、保険点数収載まで、講演者らの経験に基づき解説する。加えて、近年の基盤モデルに基づく生成型AI、それに基づく画像自動認識と所見分生成など、最近のAIに関する技術的話題、バイアスといった医療AIにおいて気をつけるべきことなどの話題を提供し、今後の医療AIのあり方について考えたい。

# <mark>特別講演2</mark>「大腸がん死亡ゼロを目指した

## 内視鏡診断支援AIの開発



昭和大学 横浜市北部病院 消化器センター 講師 三澤 将史 氏

大腸内視鏡診断支援AIであるEndoBRAINは2013年より産学連携研究としてスタートし、2018年に本邦で初めてAIを使用したプログラム医療機器として薬機法承認を取得しマーケットに投入することができた。現在EndoBRAINは計5つの製品が薬機法承認を取得し市販されているプログラム医療機器の普及には医療機関に対する対価である診療報酬がキーと考えられていたが、数ある診断支援AIの中で初めてEndoBRAIN診療報酬が設定された。本講演ではEndoBRAINの臨床的有用性から診療報酬加算獲得の背景を説明する。

## 特別講演3

## 「産官学の医工連携による AIを搭載した 大腸内視鏡診断支援ソフトウェアの開発」



サイバネットシステム株式会社 医療ビジュアリゼーション部 部長補佐 華原 革夫 氏

2013年から、昭和大学北部病院消化器センターの大腸内視鏡診断支援の研究、名古屋大学森研究室の医用画像のアルゴリズムの研究、サイバネット医用ソフト開発・製品化の技術を融合して、三者間の大腸内視鏡 画像に対する研究協力が始まった。2015年開始の日本医療研究開発機 構(AMED)のプロジェクトにおいて、医療の基礎研究から、実用化までの一貫した医療研究開発による産官学連携により、プロジェクト費用を活かして特許を取得、先生方の世界一流専門雑誌への論文発表、Endo BRIANシリーズの製品開発を行った。その後、薬機法の承認取得、市販の展開という一連における企業の役割を紹介する。

#### 【アクセス】

名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」下車、3番出口をご利用ください。

#### 【来場についてのお願い】

平日開催のため、駐車スペースに余裕がございません。 また、交流会ではアルコールを準備しておりますので、 公共交通機関のご利用をお願いいたします。

#### 【お申込みについて】

郵送案内の「**出欠通知書**」にてお申込みください。

※申込締切:7月26日(金)



【問合せ先】名古屋大学協力会 E-mail:kyouryokukai@aip.nagoya-u.ac.jp